

キャラクター名

キバシリ

プレイヤー名

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	6
サポートクラス	セージ	Lv.1:	セージ	性別	女性
称号クラス				年齢	20
種族	ヒューリン			境遇	義理の親
出自 (効果)	闇の一族			目標	名誉

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運		
基本値	14	9	10	20	12	11	3	HP	53
ボーナス	4	3	3	6	4	3	1	MP	73
クラス修正	0	0	0	2	2	1	1	フェイト	5
他修正									
能力値	4	3	3	8	6	4	2		

	装備品	射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	封精魔杖：火	至近	-1	5					
左手									
頭部	メイジハット					2			
胴部	封精長衣					5	2		
補助	水晶の指輪					1	1		-1
装身具	封精韋編								
	能力値		3	0	3	0	4	9	9
スキル	オーバーパス							1	5
その他									
	総計(右)		2	5					
	総計(左)		3	0	3	8	7	10	13
	総計(両)		2	5					m
	ダイス数		3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数		所持品
トラップ探知	6			6	+ 2 d		冒険者セット
トラップ解除	3			3	+ 2 d		バックパック
危険感知	6			6	+ 2 d		ポーションホルダー
エネミー識別	8			8	+ 2 d		弁当の空容器
アイテム鑑定	8			8	+ 2 d		ルミネスドリンク赤
魔術判定	8		1	9	+ 3 d		MPポーション*5
呪歌判定					+ d		ベルトポーチ
錬金術判定	3			3	+ d		ランチボックス
							果物*5
							果物*5
現在重量：	16						
最大重量：	31	所持金：	1470	預金・借金：			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果：	タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3							
マジシャンズマイト	5	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果：	魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。							
オーバーパス	★		パッシブ		自身			
効果：	狼族。移動力+5M、行動値+1							
コンコードダンス	1		パッシブ					
効果：								
エンサイクロペディア	1		セットアッププロセス		自身	自動成功		
効果：								
コンセントレイション	1		パッシヴ		自身			
効果：	魔術判定に1Dをプラスする							
ファイアボルト	1	6	メジャー	20	単体	魔術判定		
効果：	<2D+10>の火属性魔法ダメージ							
トレジャーマニア	1						シーン1回	
効果：	ドロップ判定に+1D							
マジックブラスト	2	3	ムーブ		自身	自動成功		
効果：	魔法の対象をSL*2に拡大する							
リゼントメント	1				自身		シナリオ1回	
効果：	魔法攻撃の対象を単体にし、CL*10のダメージ増加							
エキスパート	1	3	マイナー		自身	自動成功		
効果：	タイミング：メジャーの魔術判定に+1D							
マイスター：魔術判定	★		パッシブ		自身			
効果：	魔術判定に+1D							
エリュダイト	1		パッシブ		自身			
効果：	【知力】判定のダイスを増やす一般スキルの効果を【1Dプラス】から【2Dプラス】に変更する							
リバーサル	1	10	判定の直後	20	単体	自動成功	シーン1回	
効果：	対象の判定直後に発動。【SL*3】の達成値減少							
ラーニング	1				自身			
効果：	メイキング/CL制限を含まない種族スキルを1つ取得。幸運基本値マイナス3							

パリス同盟の貴族に仕えていた諜報員一族の拾い子。実の両親はヴァーナの父とヒューリンの母である。4歳前後の頃に義父の破壊工作で起こった火事が原因となり、実の両親が死去。両親の手により命からがら助かったところを憐れんだ義父に拾われる。半ば酔狂のことであった。

現在のキバシリは両親の死の原因が義父であるとは何となく察しているが、大恩も感じているため触れないようにしている。その後、10歳になるまで闇の一族として諜報・工作・拷問などの訓練を受ける。また、小さい仕事であれば実戦訓練として請け負うこともあった。この時、義父母に内緒で成果を上げるために小児性愛者を相手に色仕掛けを仕掛けたこともあったという。

10歳の時に転機が訪れる。同盟に仕える組織の間で権力闘争が巻き起こり、義父母の一族も巻き込まれることになってしまう。幼いキバシリに飛び火することを懸念した義母の手引きにより、キバシリはパリス同盟を脱出。キバシリ本人は当時、この事件で義父母は死んだものと思い込んでいた。そしてここから長い放浪生活が始まる。義父母と生きる理由を一度に失い、ただひたすら生存本能に従って命を長らえる日々だった。そんな荒んだ放浪生活が約10年。大陸の各地を転々と移り住みつづ、その精神を摩耗させていった。魔法の技術はこの間に日銭を稼ぐ手段の一つとして身につけた。そして20歳の時、夜の稼業でたまたま再会した古い知人から義父母が権力闘争の末に牢獄に繋がれているという情報を知る。ようやく生きる理由、為すべきことを見出したキバシリはパリス同盟に戻ることを決意する。義父母を救えるほどの巨大な名誉...恩赦を手に入れるために。

プライドが高く、頭に血が上りやすい性格。人生の大半を闇社会で暮らしたため、穏やかではない発言が目立つ。兄や姉を持たず義父からは毅然と接される場面が多かったため、誰かに甘えたい、頼りたいという願望が強い甘えん坊でもある。いわゆる術師らしい服装は好まず、どちらかというと露出度の低い軽装を好む。狼の耳と尻尾は帽子や服で隠しており、胸（Dくらい）はサラシで念入りに潰している。男装をしている理由についてはいくつかある。女だとナメられたくないこと。何度も任務や日銭の為に自分の女を売った過去があるため、それに嫌気を感じていること（ゆえに非処女である）。女らしい服装をあまり理解できていないこと。男口調は放浪生活の中で身につけた。単独で戦闘する機会が多かったため、『ファイアボルト』は自己流に炎の槍へとアレンジされている。『リゼントメント』中は炎の大剣にパージョンアップする。両手持ちのロッドは彼女の好みに合わないらしく、基本的に背中に括りつけている。ピギナースロッドは名前以外好きなのか、手に持つことが多い。槍投げ以

[illegible][illegible]